

6 地域公共交通の基本方針・目標の設定

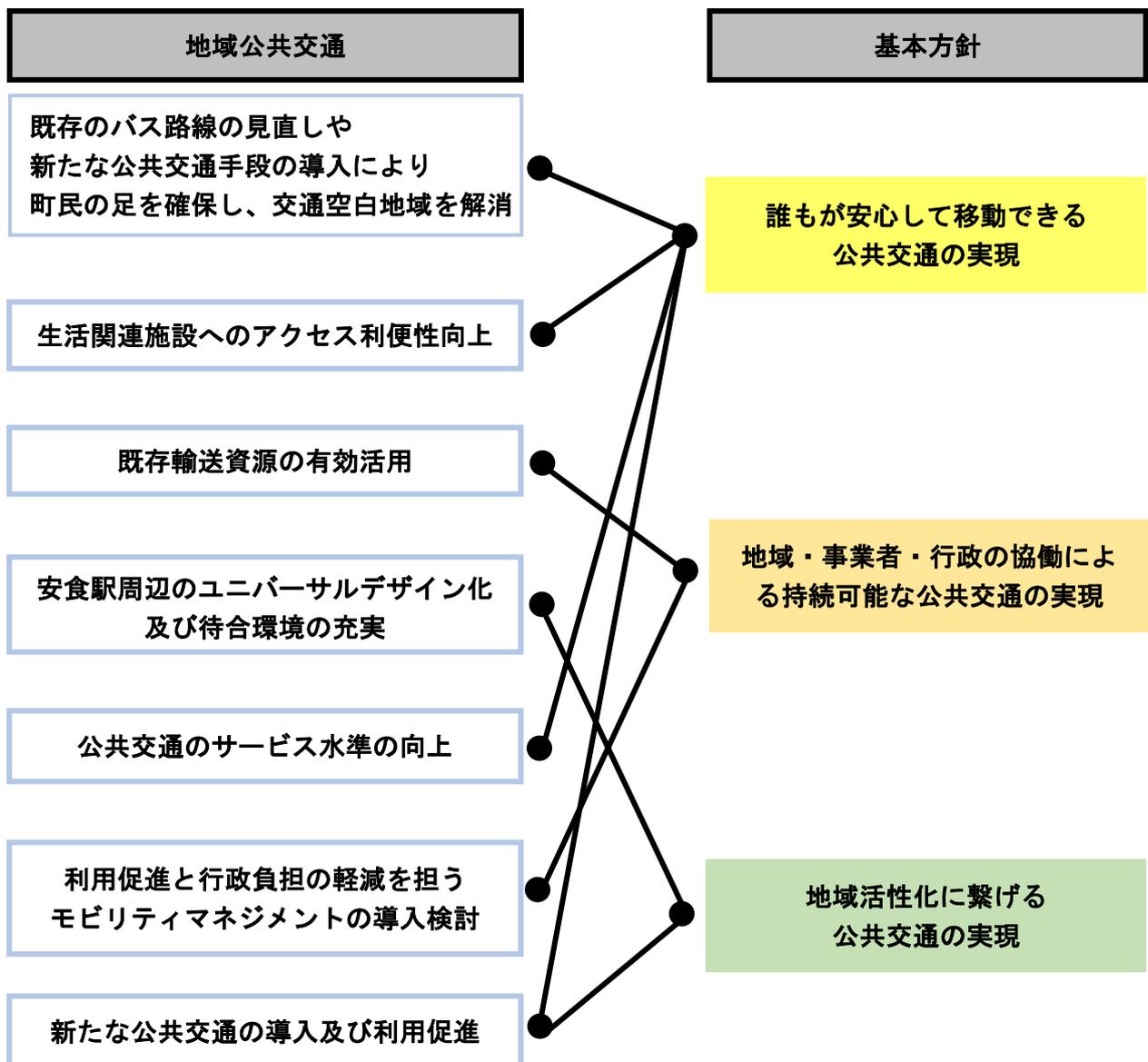
栄町の地域公共交通の課題を踏まえ、地域公共交通の基本方針と目標を下記に示します。

(1) 公共交通の将来像

誰もが安心して移動できる地域公共交通ネットワークの構築

(2) 基本方針

地域公共交通の課題へ対応する基本方針を設定します。



(3) 基本方針と計画目標

【基本方針1】誰もが安心して移動できる公共交通の実現

- ・利用者のニーズに応じて、町内や町外での交通幹線の強化及び公共交通利用環境の向上を目指し、誰もが安心して移動できる公共交通ネットワークの実現を目的とする。

計画目標1：幹線・フィーダーシステムの構築（役割分担の明確化）

- ・広域交通、地域間交通、地域内交通、それらを補完する新しい交通システムの役割分担を明確化し、効率的な交通運用の実現を目指す。
- ・町内だけでなく町外へのアクセス強化や新しい交通システムの導入によって、公共交通の利用者の維持を目指す。

計画目標2：公共交通利用環境の向上・充実

- ・いつでも安心して公共交通を利用できる環境や交通サービスの導入を目指す。

【基本方針2】地域・事業者・行政の協働による持続可能な公共交通の実現

- ・住民の生活の移動手段として重要な公共交通を確保・維持していくため、地域・事業者・行政の三者が協働し、持続可能な公共交通の実現を目的とする。

計画目標3：既存輸送資源の有効活用

- ・住民の利用ニーズに合わせた公共交通の運用において、公共交通サービスのみで対応しきれない際に、地域貢献を掲げる企業などの送迎バスやスクールバスなど既存の輸送資源を有効活用することで、持続可能な公共交通の実現を目指す。

計画目標4：地域との協働の取り組みの展開

- ・地域との協働によって、公共交通を維持することや利用促進することの大切さを理解してもらえるような取り組みを展開し、持続可能な公共交通の実現を目指す。

【基本方針3】地域活性化につなげる公共交通の実現

- ・鉄道駅や役場、小学校など、公共交通の利用者の多い拠点を交通結節点として利用しやすい環境を整備し、地域活性化につなげる公共交通の実現を目的とする。

計画目標5：交通結節機能の強化

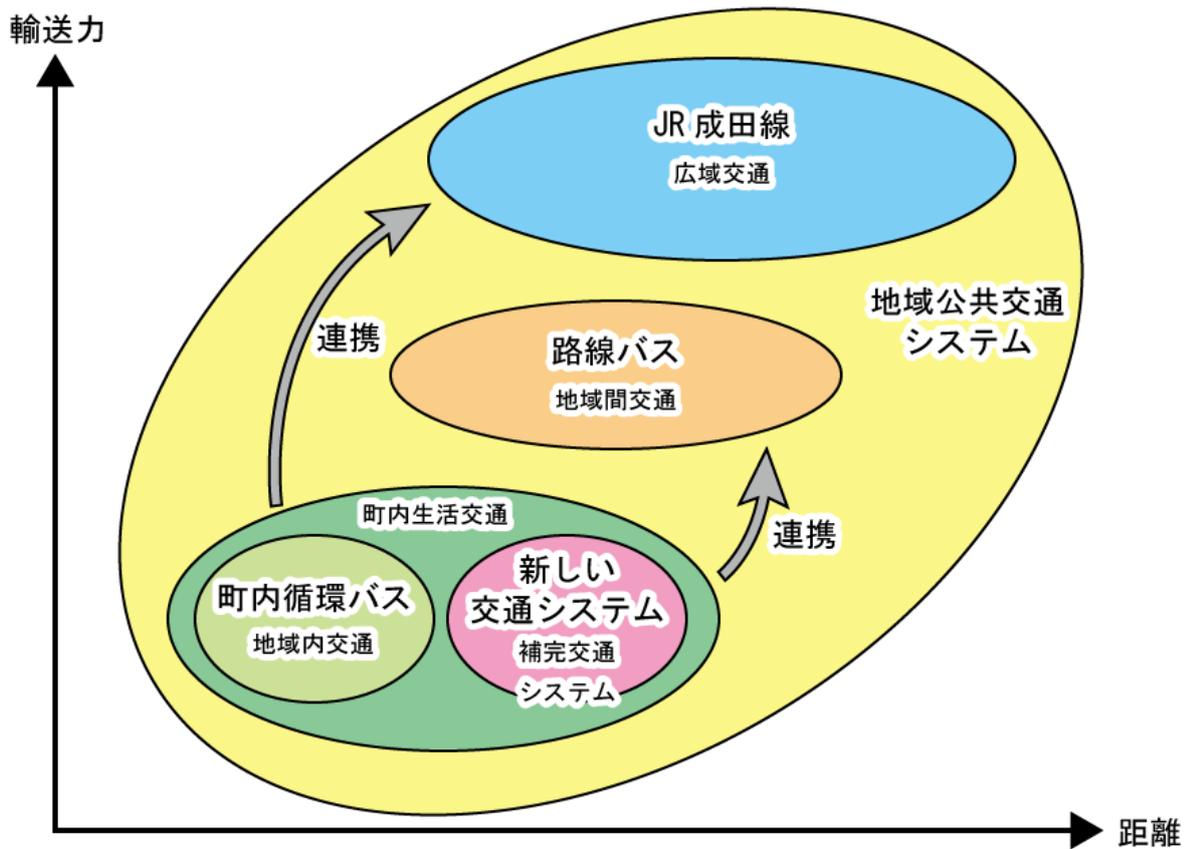
- ・交通結節点として利用しやすいよう、待合空間や駅舎の整備（施設や南北自由通路のバリアフリー化）等、交通結節機能の強化の実現を目指す。

(4) 地域公共交通のあり方

既存の公共交通の機能的分担を明確化するとともに、新たな交通システムを導入することで、町内全域の公共交通を補完します。

機能分類		性格・役割	
広域交通		・ 広域的な移動	・ JR 成田線
地域間交通		・ 周辺市町村への移動 ・ 町内の主要な施設への移動	・ 路線バス
町内生活交通	地域内交通	・ 広域交通、地域間交通の補完 ・ 町内の移動	・ 町内循環バス
	補完交通システム	・ 小需要地域、公共交通不便地域の移動 ・ 高齢者の移動	・ 新しい交通システム (既存の輸送資源の活用も考慮)
交通結節点		・ 上記交通システムの連携拠点 ・ 待合空間、乗継情報等の機能強化を図るべき拠点	・ 鉄道駅 (安食駅) ・ 役場など

■輸送力と距離との関係による各交通システムの位置付け



■公共交通ネットワーク再編イメージ

